

# さいくうあと通信

発行 明和町役場 斎宮跡・文化観光課  
(明和町大字馬之上 945 番地)  
電話:0596-52-7126 FAX:0596-52-7133  
E-mail: saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

## 歴史を活かしたまちづくりに向けて国から認定

—— 明和町歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり法）を認定 ——

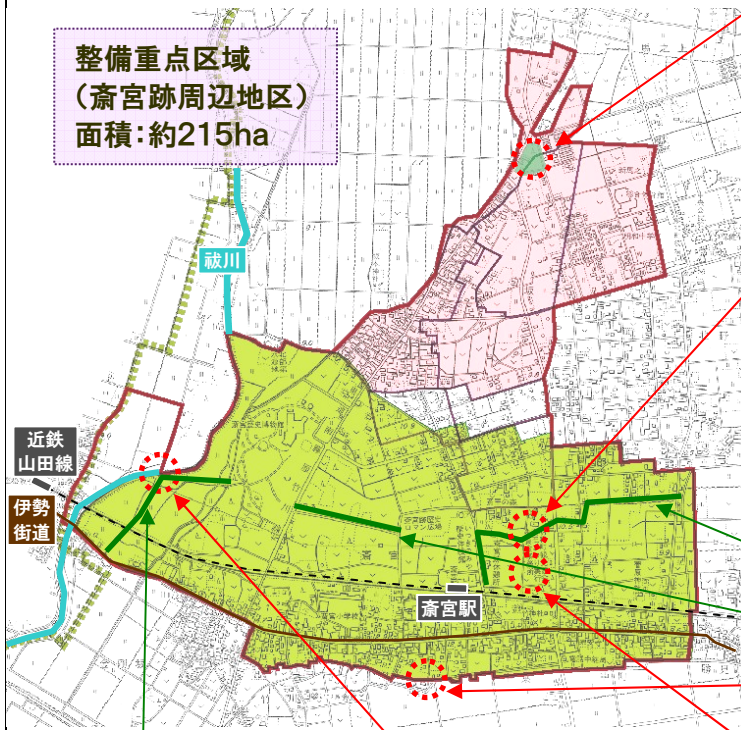
国史跡斎宮跡をはじめとする地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを進めることを目的とし、策定を行った「明和町歴史的風致維持向上計画」が、6月6日、歴史まちづくり法（通称）に基づく国（国土交通省・文部科学省・農林水産省）の認定を受けました。この度で全国では35市町が認定されることになりましたが、当町のように史跡（埋蔵文化財）を対象とした計画が認定されたのは全国でも初の事例です。この計画は、史跡「斎宮跡」、県指定史跡「坂本古墳群」を含み、神聖な場所として古くから地元の方々を守り続けられている斎王の森・竹神社や斎宮復興運動の拠点となった地域が重点区域（下図）として位置づけられています。そして期間を平成24～32年度とし、平安時代の実物大の建物や古代伊勢道の復元、坂本古墳群の史跡公園としての整備、史跡から笹川に至る排水路の整備、伊勢街道沿いの歴史的建造物の実態調査などの事業メニューが盛り込まれています。計画に基づくこれらの事業を、国の支援を受けて実施することが可能となり、新たなまちづくり事業の進展、知名度のアップによる観光面における活性化が大いに期待される運びとなりました。

### ・明和町の歴史的風致って？

古くは伊勢神宮の神領であった当町には、伊勢に遣わされた「斎王」の御殿とその役所「斎宮寮」が置かれ、神宮と密接な関わりをもって発展してきました。斎王制度が廃絶した現在も地域における保存活動が受け継がれています。また、町内には神宮土器や織物の生産施設、大淀祇園祭などの民俗行事が歴史的建造物と一体となって当町の歴史的風致（趣き）を形成しています。

※認定に関する情報および計画の全文は、明和町 HP<http://www.town.meiwa.mie.jp/> に掲載されています。ご参照下さい。

### 整備の計画箇所（一部を抜粋）



#### 坂本古墳公園整備事業

日本最後の前方後方墳である坂本1号墳のある坂本古墳群を史跡公園化することで、地域住民の方々に、歴史的風致をより身近に感じていただけるような整備を計画しています。



坂本1号墳

#### 史跡公園(下園東区画広場)整備事業

来訪者を受け入れるための案内休憩所や多目的広場、便益施設を整備し、歴史資源の説明を行う拠点や散策の起終点とすることで、歴史的風致を担う地域住民の方々や来訪者のイメージ向上を図る整備を計画しています。



整備箇所の現状

#### 幹線排水路等整備事業

#### 史跡東部整備事業(古代伊勢道)

#### 史跡公園(八脚門広場)整備事業

#### 菟戸散策道整備事業

来訪者等が散策できる回遊ルートを整備し、また、祓川には木橋をイメージした神宮橋の整備を計画しています。史跡内の散策道かつ生活道路とすることで区域内の回遊性や地域住民の方々の生活環境の向上を図ります。



散策道整備予定箇所の現状

#### 神宮橋整備事業

#### 史跡東部整備事業(柳原区画)

柳原区画の最盛期の姿を実物大で復元・表示することで、当時の斎宮の雰囲気や、斎王をはじめとする当時の人々の暮らしをよりリアルに想起させ、地域住民の方々の歴史的風致に対する意識向上を図ることのできる整備を計画しています。



整備イメージ

## 身近な歴史

# 明和に王様がいた!?

— 坂本1号墳に葬られた人 —

時をさかのぼること、1400年前の古墳時代。

坂本に大きなお墓が造られました。ほかの人のお墓よりも大きく、そしてほかのお墓とは違った形に造られたそのお墓は、現在坂本1号墳と呼ばれ、三重県の史跡に指定されています。

坂本1号墳は、今から15年前に明和町が発掘調査を行った結果、金で飾られた刀が見つかり、また、前方後方墳（ぜんぽうこうほうふん）という変わった形をしていることから、高い身分の人が葬られていたことが分かりました。

発掘されたその刀は、金銅装頭椎大刀（こんどうそうかぶつちのたち）と呼ばれており、長さは106cmもあります。そのつくりは、当時の技術が結集されたもので、大刀を入れる鞘は漆を3重に塗った上に金銅（銅の金具を金で飾ったもの）の金具で飾られ、大刀を持つ握りの部分には銀で作った銀線をまいており、見た目をかなり重視して作っていることがわかります。この大刀を作ったのは当時の最高権力者であった天皇と、それを中心とした国家である大和朝廷で、大刀は天皇から贈られたものだと考えられます。

そんな格式高く、金色に光る大刀を持ち、死んだ後も大きなお墓に入ることでその力を示したこの人物は、当時の明和周辺を治めていた王様のような存在だったと考えられます。

おそらくはこの人物の存在が、当時の明和町に斎宮寮を置くきっかけになったのではないかと考えられており、斎宮跡と坂本1号墳には密接な関係があったようです。

また、今年6月に国から認定を受けた「明和町歴史的風致維持向上計画」では、国指定史跡斎宮跡とこの坂本1号墳を中心に重点地区を設定し、坂本1号墳も古墳公園として整備することが計画されています。

なお、金銅装頭椎大刀のレプリカと復元模造品を、ふるさと会館2階にて展示していますので、ぜひご覧になってください。



※坂本1号墳から出土した  
「金銅装頭椎大刀（こんどうそうかぶつちのたち）」

## 斎宮跡・文化観光課からのご案内

### 斎宮跡芝生広場をご活用下さい 「そうだ！ふるさと広場が使えるじゃない」



斎宮跡史跡地内には、6月の斎王まつりの本会場となった「ふるさと芝生広場」や群行の出発地点となった「上園芝生広場」といった広大な芝生広場があります。

これらは、イベント時を除いて、一般の方々のご利用に開放させていただいております。現地は天然の芝生で、地盤も固くなく、小さなお子様も安心してご利用いただけます。これから夏の季節を迎えますが、木陰のベンチや東屋でご休憩、また日差しの収まった夕方時の散歩などもお勧めです。広大で安全な芝生広場をぜひご利用下さい。

#### <ご利用上のご注意>

皆様に快適にご利用いただくために、以下の行為についてはご遠慮いただいております。

- ・芝生や施設を損傷する行為
  - ・ゴミを残す行為
  - ・火気を取扱う行為
  - ・人の迷惑となる行為 など
- ※団体でのご利用の際は、役場斎宮跡・文化観光課までご一報下さい。



上園芝生広場  
(近鉄斎宮駅北側)



ふるさと芝生広場  
(斎宮歴史博物館南側)